

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 3

事務事業名	秘書活動事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	秘書広報課		
課長名	横田 良一	内線	206
担当者名	児玉 英輝	内線	205

基本目標	-
政策	999999 -
施策	その他
関連施策	

会計	一般会計	
款	2	総務課
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
事業コード	030100	

事業類型	2	内部管理事務
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市長・副市長		
意図 対象をどのような状態にしたいか	市長・副市長が大村市の緊急かつ重要な行政需要に対して、効果的に手腕を発揮し、円滑な交際・交渉が行われる。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市長・副市長の日程を調整し、二役のスムーズな交渉の事務的補助を行う。 また、来客者の適切な対応を行う。 市長・副市長の日程及び情報を共有し、交渉及び内部調整に必要な情報や資料を準備する。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 市長・副市長出席の公務数	計画値	3,723	3,775	3,573	3,415	平成28年4月から副市長1名体制
		実績値	3,775	3,573	3,415		
		達成度	%	101.4%	94.6%	95.6%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	①	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	6,028	5,075	7,091	6,215	11,618	6,215	6,215	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	6,028	5,075	7,091	6,215	11,618	6,215	6,215	
② 人件費(千円)	20,238	19,534	18,614	17,810	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.80	1.80	1.80	1.60	市長車買替			
時間外勤務(時間)	469	468	462	590				
嘱託等人数(人)	2.70	2.70	2.70	2.70				
フルコスト(①+②千円)	26,266	24,609	25,705	24,025				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	市長、副市長へのアポイントメント及び出席行事の日程調整及び来客対応など、市長・副市長の公務のサポートに努めた。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市長・副市長に対し、秘書のサポートは不可欠であるため、現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。